

「産業構造審議会 化学物質政策小委員会」
及び「化学物質審議会」合同会議向け

CMPの開発状況並びにRMP構想について

Chemical and circular **M**anagement **P**latform
製品含有化学物質・資源循環情報プラットフォーム

Recycle **M**anagement **P**latform
リサイクルマネジメント情報プラットフォーム

2026年3月4日

CMPコンソーシアム
代表幹事 古田清人

アジェンダ

1. CMPについて（振り返り）
2. CMPの開発状況について
3. RMP（リサイクルマネジメント情報プラットフォーム）構想

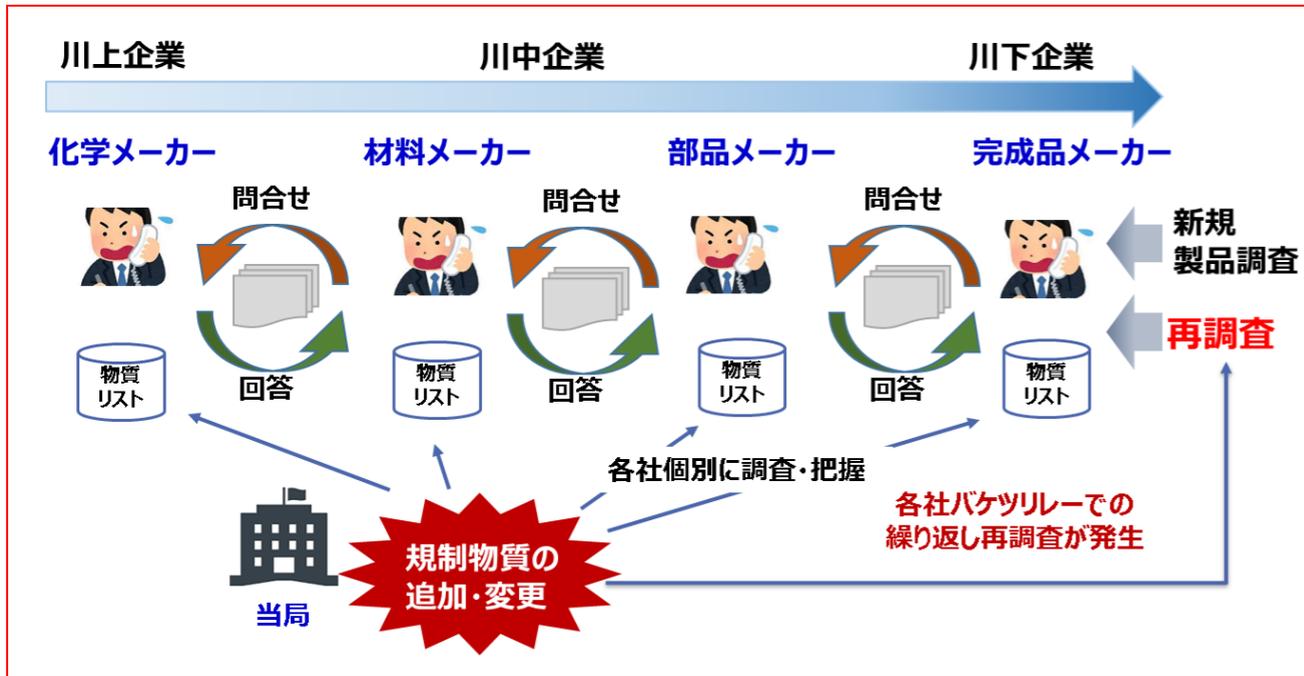
1. CMPについて（振り返り）

CMPのコンセプト

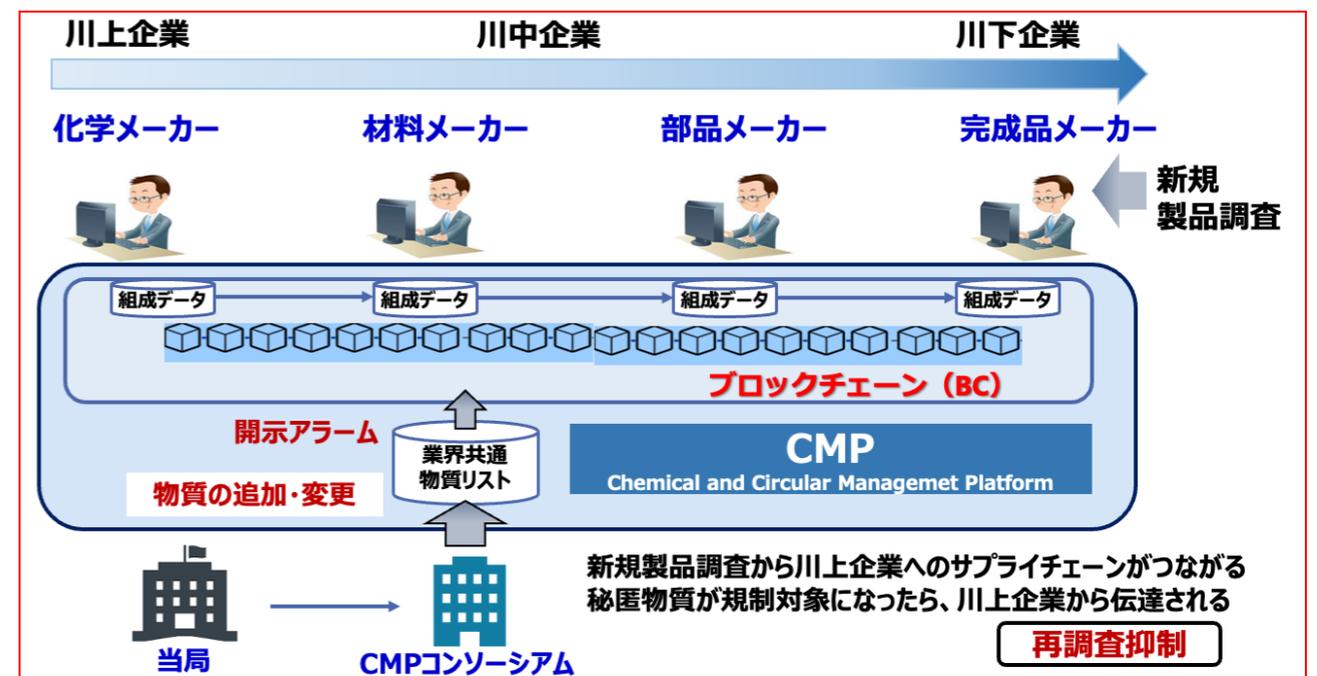
【得られる効果】

- ✓ 川上から川下へのシームレスな情報伝達
→バケツリレー型情報伝達から、CMPコンソーシアムによるサプライチェーン全体への一括トリガーへの変革
- ✓ 規制変更時に必要となる再調査の抑制
- ✓ 資源循環など新たな情報への展開

【現状の情報伝達】



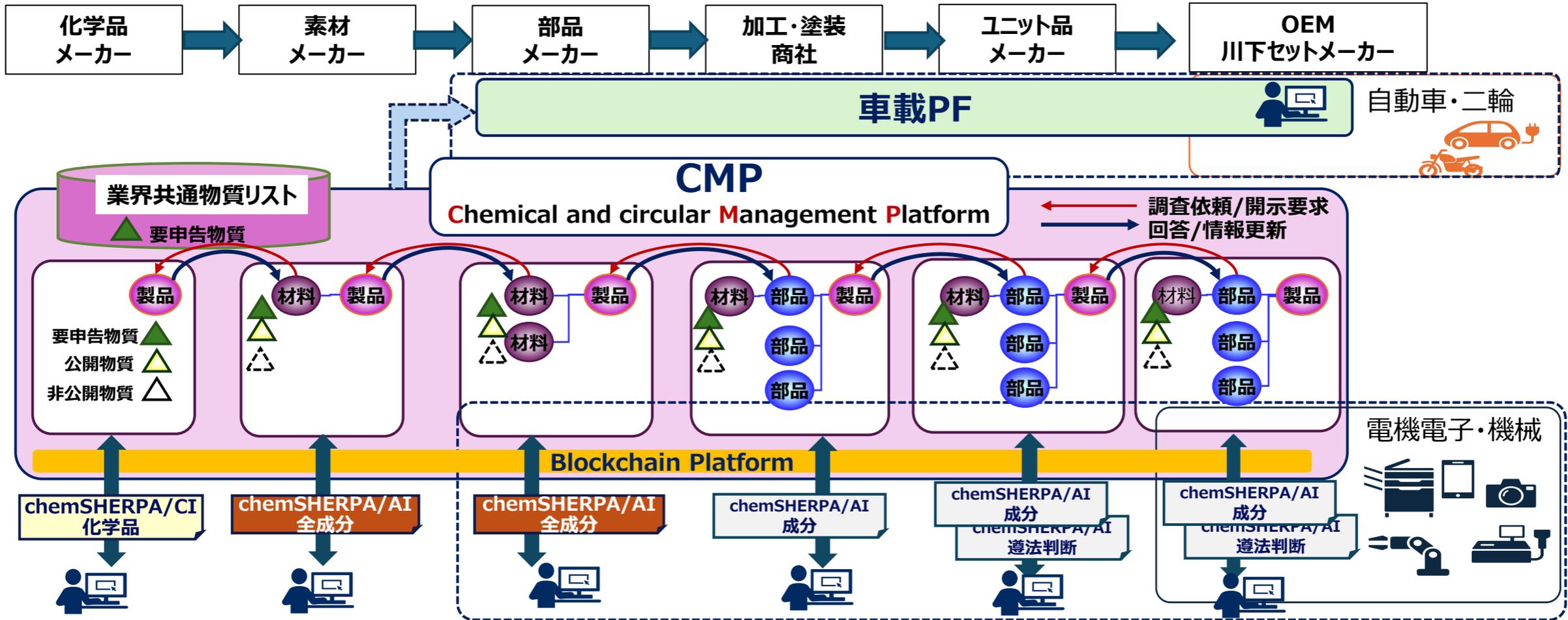
【目指す情報伝達の姿】



CMPの全体イメージ

- ✓ CMPはサプライチェーンにおける営業秘密情報（CBI）を担保しながら、再調査の手間を最小化する
- ✓ 一度サプライチェーンをつないでしまえば、法規制変更時に含有変更情報が再調査なしに入手できる
- ✓ 情報をつなぐために、chemSHERPAデータのインプット、アウトプット機能を実装

→少なくとも約25%の工数削減効果を実現（CMPタスクフォースアンケート※）※コンソーシアム設立前のCMPタスクフォースにおけるアンケート結果



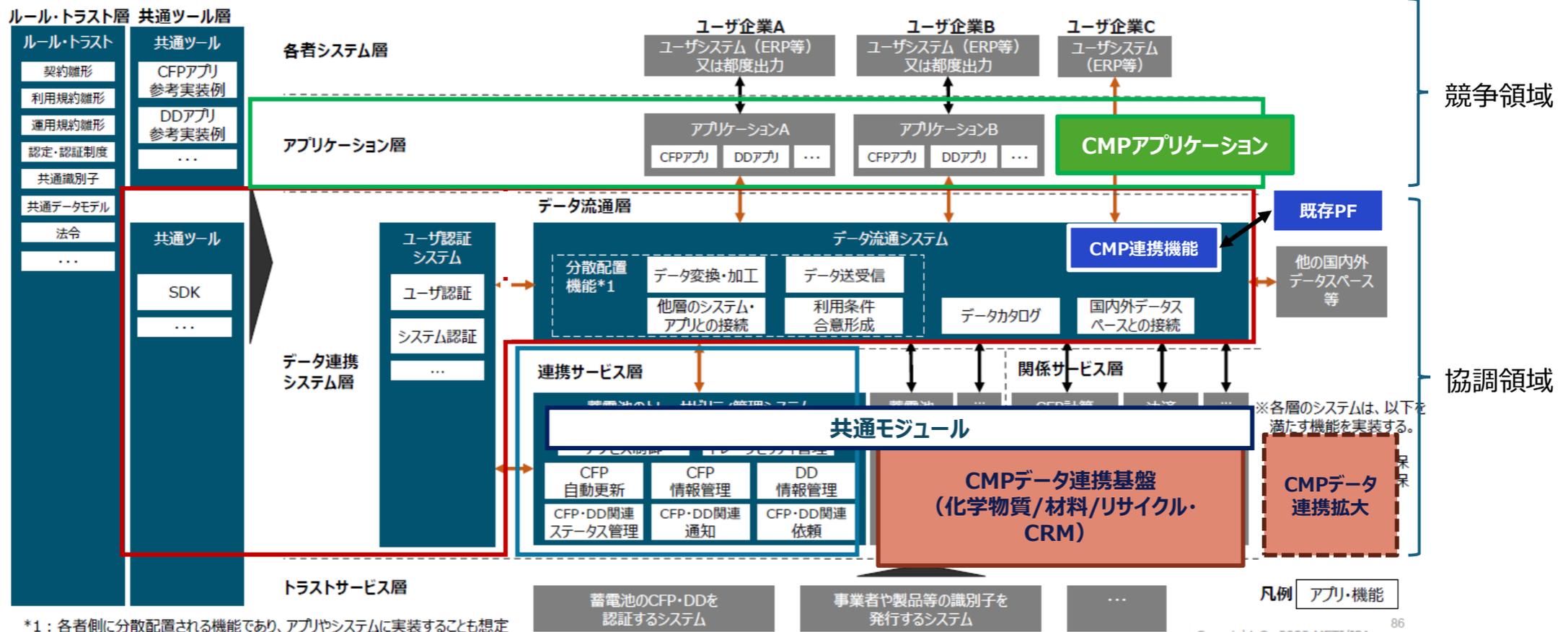
実装アーキテクチャ

✓ 経済産業省が提唱するウラノス・エコシステム（自動車・蓄電池トレーサビリティ管理システム）との連携により実現

データ連携基盤のシステムアーキテクチャ



各者システムやアプリケーションが利用するサプライチェーンデータ連携基盤は、ルール・トラスト層、共通ツール層、データ連携システム層、トラストサービス層に分けて、それぞれを構成するシステムが疎結合するアーキテクチャとする。先行的に青い箇所の実装を進めている。



*1: 各者側に分散配置される機能であり、アプリやシステムに実装することも想定

2. CMPの開発状況について

CMPコンソーシアムの設立

✓ 2025年10月にCMPタスクフォースとJAMPを統合・改組する形でCMPコンソーシアムを設立

CMPタスクフォース
(会員約70社・団体)
✓ CMPの企画・推進

CMPタスクフォースメンバーリスト

✓ CMPタスクフォース活動を約70の企業、団体で推進中

化学品チーム	川中チーム	電機電子チーム	自動車チーム
1 旭化成株式会社	1 オムロン株式会社	1 沖電気工業株式会社	1 株式会社アイシン
2 株式会社オリン	2 京セラ株式会社	2 キヤノン株式会社	2 豊和製鋼株式会社
3 互応化学工業株式会社	3 住友電気工業株式会社	3 一般社団法人 産業環境管理協会	3 株式会社クボタ
4 サカタインクス株式会社	4 太陽誘電株式会社	4 セイコーエプソン株式会社	4 株式会社ジェイテクト
5 三洋化成工業株式会社	5 豊田合成株式会社	5 ソニー株式会社	5 ジャスコ株式会社
6 住友化学株式会社	6 株式会社豊田自動織機	6 株式会社東芝	6 株式会社SUBARU
7 テクニウム株式会社	7 トヨタ紡織株式会社	7 東京エレクトロン株式会社	7 タイハツ工業株式会社
8 DIC株式会社	8 富士フイルム株式会社	8 日本電気株式会社	8 株式会社デンソー
9 豊通ケミカス株式会社	9 株式会社村田製作所	9 パナソニックオレシナルエレクトロニクス株式会社	9 トヨタ自動車株式会社
10 長瀬産業株式会社	10 YKK株式会社	10 プラザー工業株式会社	10 日産自動車株式会社
11 一般社団法人 日本化学工業協会	システム、普及検討、物質リスト	11 三菱電機株式会社	11 パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社
12 日本化学品輸出入協会	1 株式会社アイリスシステム	12 株式会社ロー	12 本田技研工業株式会社
13 日本ケミカルデータベース株式会社	2 株式会社ゼロボード	13 レーザーテック株式会社	13 マツダ株式会社
14 日本バーカライジング株式会社	3 Sotas株式会社		14 三菱自動車工業株式会社
15 日本ペイントコーポレーション株式会社	4 株式会社dotD		15 ヤマハ発動機株式会社
16 藤倉化成株式会社	5 UEL株式会社		
17 丸紅株式会社	6 株式会社NTTデータ	オブザーバー	
18 三井化学株式会社	7 東芝デジタルソリューションズ株式会社	1. 経済産業省	
19 三菱ケミカル株式会社	8 豊田通商株式会社	独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)	
20 株式会社三菱ケミカルサーチ	9 みずほサーチ&テクノロジーズ株式会社	独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)	
	10 富士通株式会社	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	

※2025年7月現在
※複数チーム-W/GC参加のメンバー企業は代表または川上チーム優先で記載しています7

統合

JAMP (会員400社超)
✓ chemSHERPA提供



2025年10月29日に
改組



565社・団体※

※2026年1月時点

CMP構築スケジュール

2026年2月現在

FY	2025年度				2026年度				2027年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
マイルストーン	JAMP			CMPコンソーシアム								
	CMPタスクフォース			▲CMPコンソーシアム設立 (10/29)								
CMP 開発・展開 計画	システム開発			総合 テスト	大規模実証		リリース/運用開始 (Ph1)					
					PH2 要件定義		PH2 開発		PH2 テスト		リリース/運用開始 (Ph2)	
CMP 海外展開	東南アジア展開調査				タイ・インドネシア展開準備				海外展開開始			
RMP 企画・開発	RMP (静脈) 業務要件定義				RMP実現性検証				RMP基本設計			

- ✓ 全体スケジュール：2026年3月末から大規模実証（400社目標）を開始し、2026年9月に本番利用開始予定
- ✓ 普及展開：中小企業の巻き込みについて、一定の売上規模以下の企業の利用料を無償化する仕組みを検討中
- ✓ 海外展開：タイ・インドネシア展開準備に向けた調査を2026年度に実施予定

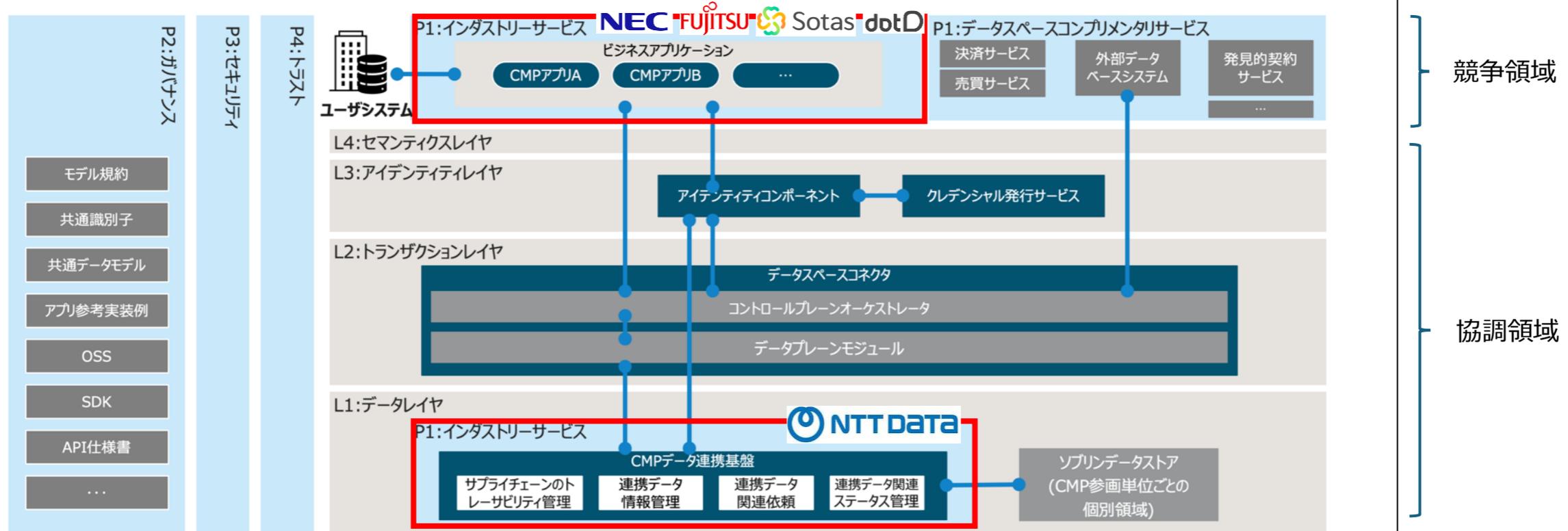
ウラノス・エコシステムとの連携

✓ ウラノス・エコシステム及びODS-RAM※の概念に基づき、基盤ベンダー・アプリベンダーと連携してCMPを開発中

データスペースの機能配置図



システムアーキテクチャを構成する際にODS-RAMのコアコンポーネントを採用することを基本とし、インダストリーサービスにユースケース個別（CMP）のデータ連携基盤及びアプリケーションを配置する。



*1: サプライチェーン領域では取引契約を参加者のトラストアンカーとし、データスペースのトラストを確保することが基本となる。

凡例 機能 アプリ システム ODS共通

Copyright © 2025 IPA/DADC

※ODS-RAM : Ouranos Ecosystem Dataspaces Reference Architecture Model

3. RMP（リサイクルマネジメント情報プラットフォーム）構想

サーキュラーエコノミー情報流通プラットフォームについて

経済産業省の目指す循環型社会を目指すための「CE情報流通プラットフォーム」に位置付けられています

資源循環のためには、動脈の情報を蓄積し、化学物質やリサイクル情報を参照しながら、安心して使える素材を静脈で活用することが必要です。そのための動脈情報伝達を行う役割をCMPが担っています。

2024年3月 サーキュラーパートナーズの設立 

経済産業省は、2023年3月に策定した「[成長志向型の資源自律経済戦略](#)」に基づき、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、産官学の連携を促進するためのパートナーシップ「サーキュラーパートナーズ」を設立しました。

■ビジョン・ロードマップ

- 今後の日本のサーキュラーエコノミーに関する方向性を定めるため、2030年、2050年を見据えた日本全体のサーキュラーエコノミーの実現に向けたビジョンや中長期ロードマップの策定を目指す。
- また、各製品・各素材別のビジョンや中長期ロードマップの策定も目指す。

■サーキュラーエコノミー情報流通プラットフォーム

- 循環に必要な製品・素材の情報や循環実態の可視化を進めるため、**2025年を目途に、データの流通を促す「サーキュラーエコノミー情報流通プラットフォーム」を立ち上げることを目指す。**

■地域循環モデル

- 自治体におけるサーキュラーエコノミーの取組を加速し、サーキュラーエコノミーの社会実装を推進するため、地域の経済圏の特徴に応じた「地域循環モデル（循環経済産業の立地や広域的な資源の循環ネットワークの構築等）」を目指す。

■その他

- 標準化、マーケティング、プロモーション、国際連携、技術検討等についても順次検討を実施し、産官学連携によるサーキュラーエコノミーの実現を目指す。

経済産業省 CPs Webページより引用 <https://www.cps.go.jp/> 12

(参考) 静脈サブWG 検討メンバー一覧

- ✓ 静脈サブWG月例会にて、RMP要件定義に向けた活動状況を事務局より報告し、以下の検討メンバによる意見交換を実施
- ✓ 2026年のRMP実現性検証についても、以下の検討メンバとも連携しながら活動を進めていく想定

#	企業・団体・組織名 等
1	経済産業省 資源循環経済課
2	環境省 環境再生・資源循環局 総務課 資源循環ビジネス推進室
3	内閣府、環境再生保全機構 (ERCA) SIP第3期サーキュラーエコノミーシステムの構築
4	独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) デジタル アーキテクチャ・デザインセンター (DADC)
5	一般社団法人サステナブル経営推進機構 (SuMPO) Sustainable Plastics Initiative (SusPla)
6	一般社団法人産業環境管理協会 (JEMAI) クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA)
7	ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ (J-CEP)
8	日立-産総研サーキュラーエコノミー連携研究ラボ (H-AIST CE Lab.)
9	Chemical and Circular Management Platform (CMP)
10	パナソニックホールディングス株式会社
11	三菱マテリアル株式会社
12	NTT株式会社
13	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
14	デロイトトーマツコンサルティング合同会社
15	株式会社野村総合研究所

資源循環プラットフォームへの拡大

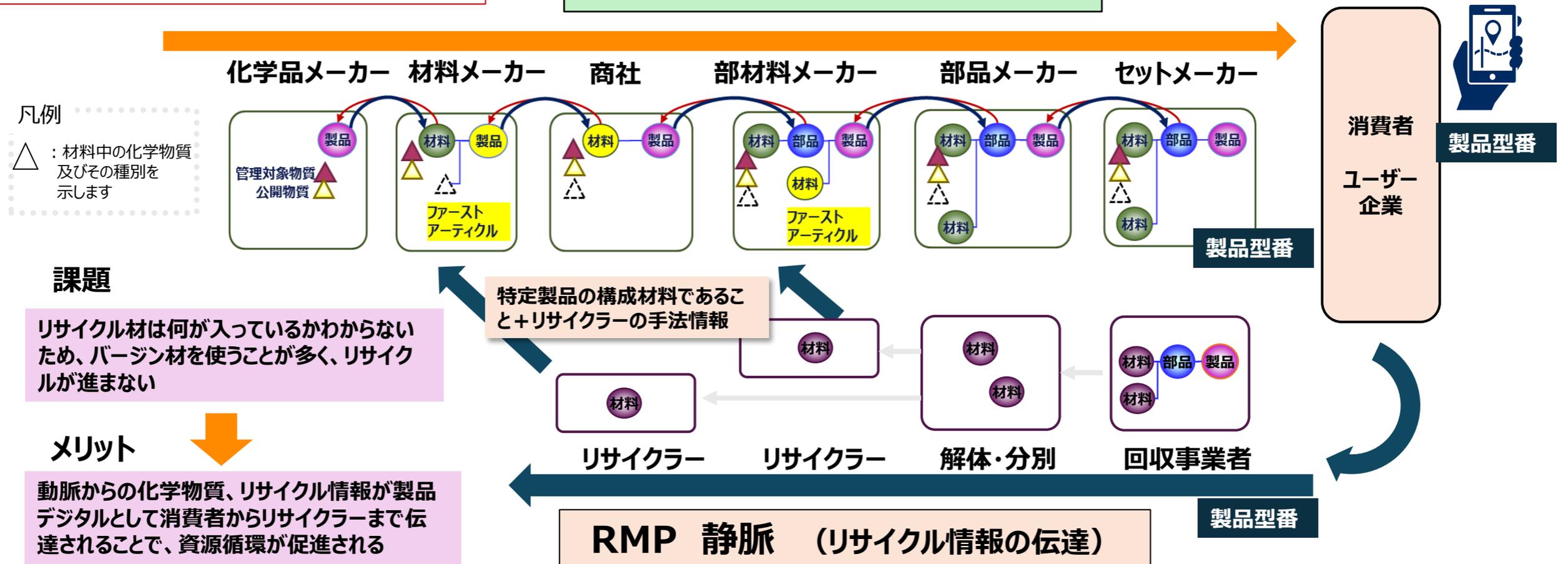
✓ CMPによる材料情報と化学物質情報伝達により製品デジタル情報が伝達され、さらに静脈の情報伝達により、材料メーカーにフィードバックされる。この情報があることで、バージン材でなく、リサイクル材を使うことが促進される

2025年度、経済産業省サーキュラーパートナーズの座組み（静脈サブWG）で、業務要件定義を計画中

CE情報流通プラットフォームのイメージ

CMP 動脈 （材料情報の伝達）

デジタル製品情報



データ連携・利活用の付加価値創出に関する初期仮説

3つのポイント

① 動脈側から静脈側へ、再生材の要求仕様を伝える

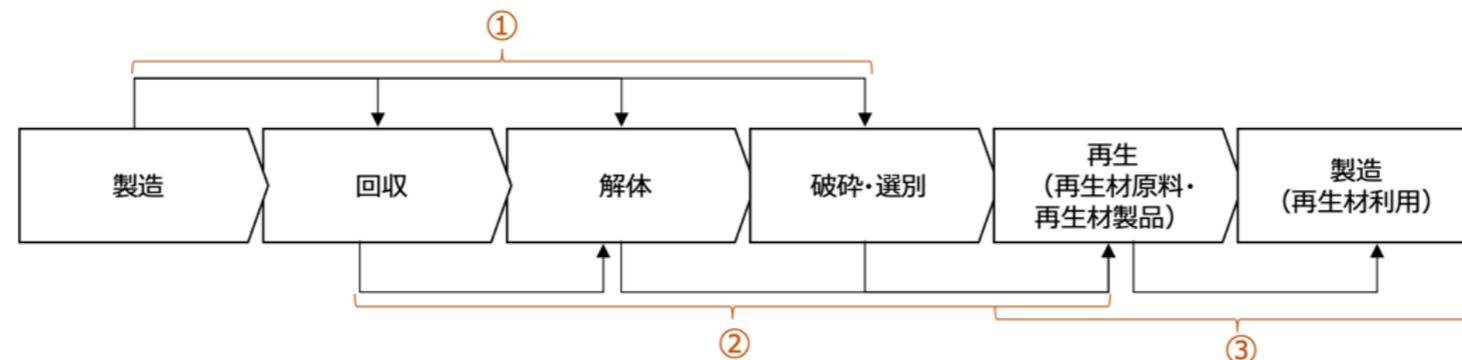
- ・動脈産業において、活用可能な再生材等の要求項目を整理し、提示することが起点。
- ・静脈側に情報を伝達する過程において、静脈産業がハンドリングしやすい情報項目・伝達手段に変化させることが必要。

② 静脈側プロセスを通じて、廃製品や処理方法・処理結果に関する情報を連携する

- ・再生原料や再生材の質・量は、供給側のプロセス変化（技術更新）や使用済み製品の発生バラツキに左右される。
- ・動脈側と合意した条件で、再生原料や再生材を確保・分別・再生できているか、そのトレーサビリティに資する情報項目の伝達が必要。

③ 静脈側から動脈側へ、再生材の使用に資する情報を伝える

- ・動脈側の要求仕様に対する品質保証や、再生工程に関する情報の提供を想定。



検討すべきユースモデルとして、家電・自動車からの家電・自動車産業への再生材の展開をイメージ

RMP 全体スケジュール

2026年2月現在

FY	2025年度				2026年度				2027年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
マイルストーン	JAMP		CMPコンソーシアム									
	CMPタスクフォース		▲CMPコンソーシアム設立 (10/29)									
CMP 開発・展開 計画	システム開発		総合 テスト	大規模実証		リリース/運用開始 (Ph1)						
					PH2 要件定義	PH2 開発	PH2 テスト	リリース/運用開始 (Ph2)				
CMP 海外展開	東南アジア展開調査				タイ・インドネシア展開準備				海外展開開始			
RMP 企画・開発	RMP (静脈) 業務要件定義			RMP実現性検証				RMP基本設計				

- ✓ 2026年度計画：2025年度の業務要件定義に基づき、2026年度には実現性検証を実施予定
- ✓ 設計・開発計画：実現性検証の結果を踏まえ、2027年度以降に基本設計・開発予定

ご清聴ありがとうございました。



お問合せ先：cmp-office@jemai.or.jp